



ディポネゴロ大学

Diponegoro University



●学部学生 38,500人 ●教職員 2,815人

ホームページ <http://webeng.undip.ac.id/>

交流協定締結年月日：2013年2月4日 主管学部：農学部



交流協定調印
ディポネゴロ大学長Dr. Sudharto (右)



ディポネゴロ大学畜産学部 看板前
(香大卒業生Dr. Albaarri Dr. Anang)

国際交流の特色

Diponegoro大学（インドネシア語：Universitas Diponegoro）は州立大学であり、ジャワ州の州都スマランにある。スマラン大学財団による私立大学として1956年に創立され、インドネシアでは先駆的な高等教育機関であり、また中部ジャワでは最も古い教育機関である。最初はスマラン大学と呼ばれていたが、インドネシア政府によって州立大学として公認され、1960年10月5日にDiponegoro大学と改名した。「Diponegoro」の名は、19世紀前半にオランダの植民地からの解放のために戦ったインドネシアの英雄からとられている。UNDIPとして知られているDiponegoro大学は、エンジニアリングとITに強く、中部ジャワで最高レベルの大学である。2000年に、UNDIPはエンジニアリング学部を拡大し、11学部となり、教育研究センターや研究所も多数ある。

交流実績（平成26年度～28年度）

年度	H26	H27	H28
受入・派遣			
学生の受入	2	1	1
学生の派遣	3	0	0
研究者・職員の受入	2	2	1
研究者・職員の派遣	2	2	0



早川名誉教授の講演の様子

教員からの声

ディポネゴロ大学からは、毎年1、2名の学生が香川大学を短期訪問しています。また、正規の大学院生として数名が香川大学に在籍しています。2017年度の交流は特に活発で、ディポネゴロ大学の学長他7名が香川大学を訪問、香川大学農学部生5名と農学部ルーツ教員がディポネゴロ大学主催のサマーインターシップ（テーマ：エコツーリズムと持続性の開発）に参加、早川名誉教授がディポネゴロ大学で授業や講演を実施（約2カ月滞在）など、活発な交流活動が行われました。

ディポネゴロ大学のあるセマラン市はとても活気のある街なので、是非一度訪問してみてください。



左の写真は、サマーインターシップでKarimunjawa島を訪れたときに撮影した。

写真の人物は、5名の農学部生
香川大学ルーツ先生
ディポネゴロ大学
アルバリ先生